

令和4年11月10日に開催した令和4年度第6回公立大学法人静岡文化芸術大学教育研究審議会の結果は、次のとおりである。

1 2024年度入試 学校推薦型選抜英語重点型公募制における出願資格（GTECスコア）の変更について（審議）

(1) 趣旨

国際文化学科における学校推薦型選抜の英語重点型公募制の出願資格について、外国語検定試験 GTEC の CEFR 閾値スコアの変更等に伴い、GTEC CBT を廃止すること及び GTEC のスコアを 960 点以上から 930 点以上に変更することについて提案。

(2) 審議結果

原案で承認。

2 本学を会場とする学会等開催申請について（審議）

(1) 趣旨

本学において、以下の学会等を開催することについて提案。

学会等名称	開催日時
日本環境学会 第49回研究発表会	令和5年6月24日(土)～25日(日)

(2) 審議結果

原案で承認。

3 新カリキュラムの準備状況について（報告）

(1) 趣旨

令和7年度から予定しているカリキュラムの改定に向けた現在の準備状況について報告。

(2) 質疑

- ・「キャリア教育」というくくりで科目群を体系づけるのか。
→ 1, 2年次開講のキャリア関連科目の新設と現在あるキャリア教育と関連する科目を整理して体系づけていく。
- ・現在、文化・芸術研究センターにおいても文化政策学部とデザイン学部がいかに融合できるかを考えている。両学部の媒介機能として文化・芸術研究センターの位置付けは重要。
- ・高校では、新学習指導要領の改訂により探求的な学びが進んでいる。課題を見つけて調査研究を通じ解決を図っていく学びや活動を経験した生徒が増えていく。そういった学びをさらに発展させていくようなカリキュラ

ムや科目を検討してほしい。

→探求の時間や情報、語学など、高校の新学習指導要領への対応については十分考慮しつつ、社会の変化にも対応した学びとなるように新カリキュラムへ反映させていく。

4 大学公式映像のリニューアルについて（報告）

現在進めている大学公式映像のリニューアルの概要、制作委託業者の決定、今後のスケジュールについて報告。

5 令和4年度前期授業アンケートの結果について（報告）

前期授業アンケートの結果について以下のとおり報告。

- ・学生の回答率は、他大学と比較すると高い水準を維持している。
- ・教員のフィードバックコメントの記入率が低い。記入率向上に取り組む。
- ・全体的に学生の満足度が高く好意的な記述が多い。特に、質問への丁寧な対応やリアクションペーパーへの返答、いわゆるアクティブラーニングが実践されている科目については評価が高い。本学においても工夫された授業が展開されていることが分かり、研修会の開催等により全学的な情報共有を図っていく。